

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2018年 5月3日 No. 263

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者: 臼井 幸一

編集 : 情宣部

第89回長野県中央メーデー開催!

5月1日、「第89回長野県中央メーデー」が長野市城山公園『ふれあい広場』で開催されました。当日は晴天の中、東日本ユニオン長野地本から26名の組合員が参加し、全体では3,400名の所属単組の組合員や家族が参加しました。

メーデー開催に先立ち、あいさつに立った中山千弘実行委員長（連合長野会長）は「われわれの生活実感は昨年と変わっていない。来年の消費税10%導入に益々不安になっているというのが実態。社会保障費も負担増で実質賃金は上がっていない。」と述べました。

メーデーでは、現在国会で審議されている「働き方改革関連法案」について「長時間労働を助長しかねない高度プロフェッショナル制度は問題だ。」とするメーデー宣言を参加者全員で採択し、城山公園からシュプレヒコールを行いながらデモ行進しました。

メーデーの起源

アメリカの労働者が1886年5月1日に「8時間労働・8時間休息・8時間教養」を求めて、シカゴでゼネストをしたのが起源で、1890年5月1日に第1回国際メーデーが開催されました。日本の第1回メーデーは、1920年（大正9年）に東京の上野公園で「治安警察法の撤廃・失業反対・最低賃金法の制定」を求めて開催されました。その後、満州事変をはじめとした戦争の発生により中断されましたが、戦後になった1946年（昭和21年）に復活し、今日に至っています。

